令和5年9月12日

会員各位

(一社)全日本空手道連盟糸東会

会長　岩田　源三

**令和５年度　称号（範士・教士・錬士）審査会のお知らせ**

今年度の称号審査会を下記の通り実施致します。

受審を希望される方は要項を熟読の上、手続きをして下さい。

記

１　日　時　　令和５年１１月３日（金、祝）二次審査会

　　受　付　　午後　１時半

　　開　始　　午後　２時

２　会　場 　糸東会本部道場

　　　　　　 〒351-0033　埼玉県朝霞市浜崎3—8-11

３　昼食等　　当日の昼食、宿泊は各自でご用意をお願いいたします。

４　審査科目と資格条件

**範　　士**

　一次審査　　①実技に関する論文（Ａ４・４００字詰原稿用紙２０００字以上）

論題は「自分が悟り得た技術（具体的なテーマを掲げること）」

一次審査料　　５，５００円　(指定口座へ送金)

二次審査　　　一次審査合格者のみ （１１月３日二次審査）

1. 実技発表（論文に基づき技術の実践）
2. 口頭試問（上記関連事項・形演武等の実技も有り）

二次審査料　　１６，５００円

条　件　　　　・技能円熟にして徳操高潔斯道の普及発展に貢献した者

　　　　　　　　　教士取得後5年以上の糸東会8段位取得者（推薦段位を除く）

・年齢５８歳以上の師範（令和5年12月31日基準日）及び

受審実績のある者

提出書類　　　論文「自分が悟り得た技術」

称号受審申請書及び功績等調書

**教　　士**

　一次審査　　①実技に関する論文（Ａ４・４００字詰原稿用紙１２００字以上）

論題は「自分が悟り得た技術（具体的なテーマを掲げること）」

　一次審査料　　５，５００円　(指定口座へ送金)

二次審査　　　一次審査合格者のみ　（１１月３日二次審査）

①　実技発表（論文に基づき技術の実践）

1. 口頭試問（上記関連事項）

二次審査料　　１１,０００円

条　　　件　　・実技指導の経験豊かにして徳望のある者で錬士号取得後3年以上の

糸東会7段位取得者（推薦段位を除く）

・年齢４８歳以上の師範（令和5年12月31日基準日）及び

受審実績のある者

提出書類　　　論文「自分が悟り得た技術」

称号受審申請書及び功績等調書

**錬　　士**

　一次審査　　　①実技に関する論文（Ａ４・４００字詰原稿用紙８００字以上）

論題は「自分が悟り得た技術（具体的なテーマを掲げること）」

　一次審査料　　５，５００円　(指定口座へ送金)

二次審査　　　　一次審査合格者のみ　（１１月３日二次審査）

①実技発表（論文に基づき技術の実践）

②口頭試問（上記関連事項）

二次審査料　　　５,５００円

条　　　件　　・人格、指導性に優れ、糸東会５段（推薦段位を除く）取得後

４年以上

・年齢３５歳以上の師範（令和5年12月31日基準日）及び

受審実績のある者

提出書類　　　論文「自分が悟り得た技術」

称号受審申請書及び功績調書

**※　一次審査申込み　論文提出締切り　一次判定作業があるため厳守**

**範士，教士、錬士のいずれも　令和5年10月2日（月）必着でお願いします。**

**手書きの場合は（Ａ４サイズ　20×20　400字詰　原稿用紙を使用　縦書、横書可能）**

**パソコン（ワード等）論文作成はA4サイズの原稿用紙様式に横書き20×20（４００字）、印字文字フォントサイズ１２**。

**必ず指定の様式で作成のこと。**

５　審査料の振込先

* **振込先**

**ゆうちょ銀行**

**記号　１６２９０　　　番号　１７７９１６８１**

**口座名　糸東会指導委員会　（シトウカイシドウイインカイ）**

**〇他金融機関からの振り込みの際は次の内容をご指定下さい**

**<店名>　六二八（読み　ロクニハチ）　<店番>６２８**

**<預金種目>　普通預金　<口座番号>　１７７９１６８**

６　申し込み先及び問い合せ先

〒679-4014　兵庫県たつの市揖西町竹万395-4

指導委員会　委員長　坂本　龍也

携帯:090-2704-3986

メールアドレス：rfma44354@yahoo.co.jp

* 空手道歴保証人は、指導師範承認印または所属県連の会長承認印を必ず申請書に捺してください。無い場合は無効となります。
* 申込書と一緒に振込み証明書の写しをかならず貼付してください。
* 受審申請書にあたっては写真の貼付、押印のないものは無効になりますので

十分確認してから申請してください。

* 1次審査合格⇒2次審査会受審者の方へ当日提出いただく書類をお送りします。

申込書にメールアドレス（ワード、エクセル文書が確認できる）を明記してください。

メールアドレスがない方は郵送します。

「実技に関する論文」の補足説明

空手道に関する技術論文、特に糸東流の伝統技術に即した研究を述べたものとする。よって、いわゆるスポーツ論文にならぬよう注意が必要である。また、指導論、教育論をテーマにしたものは評価されない。

１　各自が永年培ってきた空手道技術の受け方、突き方、蹴り方、攻防の実際等の特に工夫したこと。

２　新しい技術論。

３　先人の技術を肯定する理論的説明。またその反対に合理性がない批判的論文など。

４　以上列挙した事項等を実際に実技を行いながら説明、質問に妥当性のある回答が出来るような論文。

**●論文様式について再確認**

**手書きの場合**

**原稿用紙　20×20　400字　縦書用　横書用がありますが、どちらも可能です。**

**パソコンの場合（ワード等）**

**20×20　400字　横書き。**

**字のフォントサイズは１２程度。**

**FAX送信不可。メール送信は可。(申請書についても写真、印影貼付は可)**

**一次論文審査結果は１０月１８日頃（予定）文書でご報告します。**

**一次審査合格者は、二次審査費用を送金してください。**

**※振込名義には氏名の入力をお願いします(所属都道府県名や道場名は不可)。**

様式　１

　　　　　　称号受審申請書

|  |
| --- |
| 　　　　　　写　真　貼　付 |

(一社)全日本空手道連盟糸東会　　　　令和　　年　　月　　日提出

会長　岩田　源三　様

　　このたび、称号審査を受審いたしたく申請いたします。

|  |  |
| --- | --- |
| 受審称号 | 錬士・教士・範士○をつけて下さい |
| ふりがな |  | 性別 | 男　　・　　女 |
| 氏　　　　名 | 　　　　　　　　　　㊞ | 生年月日 | (西暦)　　　　年　　月　　日 |
| 所属支部名 |  | 会員番号 |  |
| 住　　所 | 〒　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Tel |
| 連　 絡　 先 | ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ |
| 入会年月日 | (西暦)　　　年　　月　　日 | （初め　　　　　　　　　先生師事） |
| （現在　　　　　　　　　先生師事） |
| 糸東会段位 | 　　　 段　　　　　　号 | 取得(西暦)　　　　　　年　　月　　日 |
| 全空連段位 | 　　　 段　　　　　　号 | 取得(西暦)　　　　　　年　　月　　日 |
| 糸東会指導者資格 | 師範　 　第　　　　　　号 | 取得(西暦)　　　　　　年　　月　　日 |
| 糸東会称号資格 | 錬士　・　教士 | 取得(西暦)　　　　　　年　　月　　日 |
| 糸東会役員等 |  |
| 全空連資格 | 組手審判員 | 全国・地区・県 | 資格審査員 | （　　）級資格審査員 |
| 形審判員 | 全国・地区・県 | その他資格 |  |
| 　　区　　分 | 種　　　別 | 登録番号 | 取得・更新年月日 |
| 日体協資格 | 公認スポーツ指導員 | コーチ　１コーチ　２コーチ　３コーチ　４ |  | (西暦)　　　　年　　月　　日　取得(西暦)　　　　年　　月　　日　取得(西暦)　　　　年　　月　　日　更新(西暦)　　　　年　　月　　日　取得 |
| その他資格 |  |  | (西暦)　　　　年　　月　　日　取得(西暦)　　　　年　　月　　日　更新 |
| 空手道歴保証人 | 氏　名住　所 | 　　　　　　　　　　　　　　　㊞　 | 本人との関係 |  |
| 〒　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Tel |

様式　２

　　　　　　　　　　　功　績　等　調　書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ふりがな |  | 性　　別 | 男　・　女 |
| 氏　　名 |  | 生年月日 | (西暦)　　　　年　　月　　日 |
| 所属道場名 |  | 指導者名 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 糸東会役員 | 都道府県 |  |
| 地　　区 |  |
| 全　　国 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 全空連役員 | 都道府県 |  |
| 地　　区 |  |
| 全　　国 |  |

主たる大会出場・戦績

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 期日(西暦) | 大　会　名 | 戦績（出場・何回戦・入賞等具体的内容） |
| 　　　年　月 |  |  |
| 　　　年　月 |  |  |

指導歴（年代順に記載すること）

|  |  |
| --- | --- |
| 期日(西暦) |  |
| 　　　年　月 |  |  |
| 　　　年　月 |  |
| 　　　年　月 |  |

備考欄（上記欄が不足した場合に利用して下さい。）